

JFしまねとイオンとの直接取引開始！

この度JFしまねでは、燃油価格高騰対策の一環として、漁業者の手取り収入が増える流通形態を目指すことを目的に、大手小売業のイオンリテール株式会社(本社:千葉県)と直接取引を開始しました。この直接取引は水産庁の燃油対策事業(国産水産物安定供給事業)にも組み込まれており、JFしまねが全国承認第1号となりました。



直接取引用の魚が水揚げされる(島根町:馬島定置)

第1回目の直接取引となった8月16日には、県内4統(多古大敷、馬島大敷、塩津大敷、大社大敷)の定置網で水揚げされたツバス、カマス、アジ、カンパチなど約2.7トンの漁獲物全てが取引され、翌日、山陰両県をはじめ、大阪、京都、近畿、山陽エリアのイオン直営ジャスコ店約80店舗で販売されました。



JFしまね岸会長(左)、溝口島根県知事(中央)、イオンリテール村井社長(右)

9月11日には、溝口島根県知事立会いのもと、JFしまねとイオンとの水産物直接取引協定書締結式が行われ、JFしまね岸会長、イオンリテール村井社長がそれぞれ協定書に調印を致しました。

9月16日には第2回目、10月19日は第3回目の直接取引が行われ、訪れた買い物客らは、普段見慣れない魚を手に取り販売員らに調理法を聞きながらも「鮮度が良い」「子供に食べさせたい」「また実施してほしい」など店頭での評判も上々。

この直接取引は毎月1回のペースで行う予定としています。



ジャスコ鶴見店(大阪)を訪問するJFしまね岸会長



直接取引の鮮魚コーナーを訪れる買い物客